

これから私の卒業旅行を紹介したいと思います。

今回の卒業旅行の計画に際して私が旅行先として選んだのは南の極地【南極大陸】です。(enter)

質問【南極に行ってみたいという方はいますか？】

(質問に対して手を挙げた人に何故行きたいか聞いてみる)

南極には南極でしか見られない光景とともに凍えるような寒さを体験できる。【未知で綺麗な世界です。】 そんな世界が今、地球温暖化によって危機を迎えています。石炭や石油の消費やセメントの生産によって温室効果ガスが発生しその吸収源である森林まで大量伐採されている今、いつこの光景が無くなってしまうかわかりません。その前に一度でも南極を訪れ、この景色を守りたい。この世界を失いたくない。そうしてもらいたいというのがこの計画の趣旨であり目標です。それではそんな【未知で綺麗な世界】を見ていきましょう。

まずはこのスライドをご覧ください。

これが14日間ある旅行の行程表になっています。

2日目に半日観光できるブエノスアイレスではレティーロ地区という海外ならではの広い道路や街並みが楽しめます。港を見ながらレストランで食事できるのでリッチな気分を味わえます。

3日目は空港からウーシュアイアまで飛び、ワールドエクスプローラーにいよいよ乗船し2日かけて南極を目指します。ワールドエクスプローラーの中には、ジムやプール、シアターなどといった娯楽施設もたくさんあります。そして食事場や個室、大広間、どこにいても外が見えているため、ドレーク海峡や氷山、そして海を泳ぐたくさんの生物も観測できるかもしれません。ナガスクジラやザトウクジラがみられるかも。

5日目からようやく南極大陸に上陸し観光となります。多くの生物や見どころがあるなか私が紹介したいのはやはり生物についてです。その中でも南極にしか生息しない生物【ペンギン】(ent)を紹介します。

私が一押しするペンギンは【アデリーペンギン】(ent)というペンギンです。皆さんも水族館などで一度は見たことがあるのではないのでしょうか。南極大陸で繁殖する【アデリーペンギン】なんといっても少しアホそうな見た目が可愛いです。一番目立った見た目に反してペンギンなので泳ぐのはとても速いです。

そして、一押しするペンギンとは他にもおよそ20種類のペンギンが存在します。ぜひ一羽一羽何が違うのか見極めどの種類なのかということを考えてみると楽しいと思います。

南極では生物と触れ合ったりするのがメインになりますが、夜になると空にオーロラ(ent)がかかることがあります。運が良ければ見られるかもしれません。ぜひ船の中から外を覗いてみてください。

(ent)

しょうか、南極に行ってみたいと思っていただけたでしょうか。守りたいと思っていただけたでしょうか。もし、そうは思わなくとも自分がこの世界を壊している。今紹介した生物たちを苦しめているという認識を持って生活していくことで、地球温暖化をすこしでも抑えることができるのではないのでしょうか。ですがやはりいつかは消えてしまうものです。長い人生のうち一度でも南極で凍えてみては？